

大学の世界展開力強化事業（CAMPUS-Asia6）
地球規模課題解決に資する教育政策マネジメント専門人材育成プログラム

2026年度 交換留学プログラム生 募集要項

1. 趣旨（派遣の目的）

「CAMPUS-Asia6」プログラムでは、地球規模課題の解決に向けた教育政策マネジメントの専門人材育成を目的に交流プログラムを設定し、日韓及びASEAN（タイ・マレーシア）の連携大学との海外交換留学（1か国に3か月間派遣）を実施する。

2. プログラム参加期間（2026年度予定）

期間：2026年8月1日～2026年2月末（実渡航は10月～1月の期間中3か月間）

プログラム全体スケジュール（予定）

ステージ1	8月1日～9月30日 共通科目2科目を受講（オンデマンド）
ステージ2	10月初旬～1月末（派遣先による）派遣先大学へ実渡航（約3か月間） 派遣先大学にて選択科目履修・フィールドワーク実施 派遣期間内に全4回の学生交流会議SEMを実施（オンライン）
ステージ3	2月中～下旬頃（2日間） 国際学生カンファレンスにて最終プレゼンテーション（オンライン）

- * 国際連携持続環境科学専攻学生のステージ1の受講期間については7月1日～9月30日を予定
- * 派遣期間については協定校と調整のうえで決定

3. 対象者および募集人数

● 交流プログラムA（教育学コア）

派遣先：韓国教員大学校（韓国）、コンケン大学（タイ）

● 交流プログラムB（環境学コア）

派遣先：マレーシア工科大学（マレーシア）

国際連携持続環境科学専攻学生の派遣期間はJDPに合わせたスケジュールとなります。

留学先	プログラム派遣期間	募集人数	募集対象
韓国教員大学校（韓国） コンケン大学（タイ） マレーシア工科大学 （マレーシア）	左記いずれかの1か国へ 2026年10月～2027年1月 の期間中3か月間	6名程度	下記のいずれかに属している 大学院生 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 人間総合科学研究群教育学学位プログラム ▪ 理工情報生命学術院国際連携 持続環境科学専攻

* 選考は、提出された書類の内容に基づいて、関係専攻・プログラムの教員の協議により行います。

* 派遣先大学は申請書に記入された希望を踏まえて決定します。但し、1つの大学に応募者が集中した場合は必ずしも申請者の希望に沿えない場合もあることをご了解ください。

4. 応募資格及び条件

- (1) 留学に必要な査証を確実に取得し得る者
- (2) 本プログラムの趣旨を理解し、留学先の授業を英語で履修し、参加者同士でディスカッションする意欲のある者
- (3) 本プログラムに基づく単位を留学先で取得し、本学において単位互換を予定する者
※派遣先で受講した科目の内容に沿って筑波大学の科目で単位認定を行うため、科目の内容によっては修了単位に含まれない可能性があるため、単位認定の際には、指導教員やご自身が所属している支援室担当者にご相談ください
- (4) 本プログラムの目的や活動内容を十分理解し、それに沿った活動ができ、本プログラムでの学びを今後の研究活動や課題解決に積極的に還元する意欲のある者
- (5) 本プログラムで受け入れる留学生の生活支援に協力できる者
- (6) 渡航・滞在中の事件や事故、災害、感染症に備えて下記の4つすべてを満たすことができる者

- ① 海外渡航システム（TRIP）を使用し留学の日程表を作成（日程表は留学願の添付資料となる）
※TRIPの入力データは「海外渡航届」、「たびレジ」のデータに統合されています。
- ② 海外旅行保険（留学に対応しているもの）および「海外安全危機管理システム（OSSMA）」への加入（費用は自己負担）
- ③ 当プログラムで推奨している海外渡航のためのワクチン接種（費用は自己負担）
- ④ 大学で実施される「危機管理セミナー」への参加（6月下旬予定）
※予定が掲載されましたらお知らせいたします。
TWINS掲示板にも掲載されますので、そちらも併せてご確認ください。

- (7) 親族等及び指導教員の承認を得た上で、誓約書の提出ができる者
- (8) 感染症危険情報レベル2・3の国へ渡航する際には、「学生の渡航に関する特別措置に係る申合せ」に基づき、プログラム開始前までに所属教育組織長の許可を得ていること。
※ 外務省海外安全情報に基づき、一部の国に対してレベル2の注意喚起が発出されています。

当該注意喚起はミャンマー・タイ国境付近を対象とするものであり、本プログラム協定校の所在地はその対象区域外です。
なお、本事業での渡航は留学になるため、「留学願」の提出が必要です。

5. 応募方法

CAMPUS-Asia 6のHPから様式のダウンロードが可能です。



<https://campusasia6.education.tsukuba.ac.jp/news/4327/>

必要事項を記入のうえ、締切日までに運営事務局へ提出するようにしてください。

提出先：筑波大学 つくば市天王台1-1-1 人間系学系棟B522 CAMPUS-Asia6 運営事務局
事務局受付 月～金 8：30-17：15（12：15-13：15を除く）

※打合せ等で不在にしている場合もありますので、事前に電話(029-853-6607)をしていただくと確実です。

応募締切：2026年5月27日（水）16：00

紙媒体で事務局へ持参するか、提出先の住所まで書留にて郵送下さい。

提出書類

- ① 申請書・誓約書（両面1枚）
- ② 成績証明書（2025年度1年間の成績が評価されたもの）
- ③ JASSO 受給におけるチェックリスト
- ④ JASSO 成績評価係数の算出方法

※締切日までに間に合わない場合はご相談ください。

6. 選考

2026年6月第1週・2週ごろまでに提出書類に基づいて選考を行います。

必要に応じて面談を行う場合があります。

7. 結果通知

選考後速やかに大学が提供するメールアドレス宛に合否をお知らせいたします。

8. 費用

（1） 授業料

派遣先大学の授業料は不徴収（筑波大学への授業料の納付は必要です）

（2） 住居費

派遣先大学での寮費は不徴収

(3) JASSO奨学金

本プログラム参加学生対象のJASSO奨学金制度により、月額8-9万円を給付予定。

※ 派遣先の国によって支給金額が異なります。

※ 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者（特別永住者を含む）

成績評価係数の申請基準を満たす者（JASSO算出方法：成績評価係数2.30以上。筑波大学のGPAではありません。「成績評価係数の算出方法」を参照）

上記要件を満たす者のみが給付対象となります。

※ 「はばたけ！筑大生」や「トビタテ！留学 JAPAN」の奨学金との併給はできません。

重複して申請する場合は、いずれかを辞退する等必要な手続きを取ってください。

※ JASSO受給の資格要件については、「JASSO受給におけるチェックリスト」をご確認下さい。

(4) 自己負担となる費用（予定）

航空券代、各種予防接種・海外旅行保険、OSSMA、空港までの往復交通費、現地での食費・交通費等の雑費、パスポート・ビザの申請料及び申請にかかる手数料、海外における個人通信費等

※「応募資格及び条件」の項を満たさないことが判明した場合、プログラム生の身分は取り消され、それまでに発生した費用はすべて学生の負担となります。

推奨する予防接種

下表記載の接種を推奨する予防接種については、必ず医療機関等に相談のうえ、抗体ができる日程を考慮して接種するようお願いします。

予防接種の種類によっては、数回（2～3回）接種する必要があるものもあります。

なるべく早く（できるだけ出発3ヶ月以上前から）、医療機関や検疫所で、接種するワクチンの種類と接種日程の相談をしてください。

国・地域別感染症情報については、厚生労働省検疫所（FORTH）のHPを参考にしてください。

<http://www.forth.go.jp/index.html>

なお、予防接種にかかる費用は自己負担です。

派遣先国名	接種を推奨する予防接種	特に気を付けたい病気
中国、韓国、タイ、マレーシア、インドネシア	各国共通：A型肝炎、B型肝炎、破傷風、日本脳炎、 中国・タイ・インドネシア：狂犬病 インドネシア：麻しん	赤痢、腸チフス、狂犬病、鳥インフルエンザ、デング熱、チクングニア熱、マラリア、コレラ、麻しん、腸炎ビブリオ

〔問い合わせ先〕

筑波大学 CAMPUS-Asia6 運営事務局

住所：筑波大学天王台 1-1-1 人間系学系棟 B522

電話：029-853-6607

Email：info.campus-asia6@un.tsukuba.ac.jp